

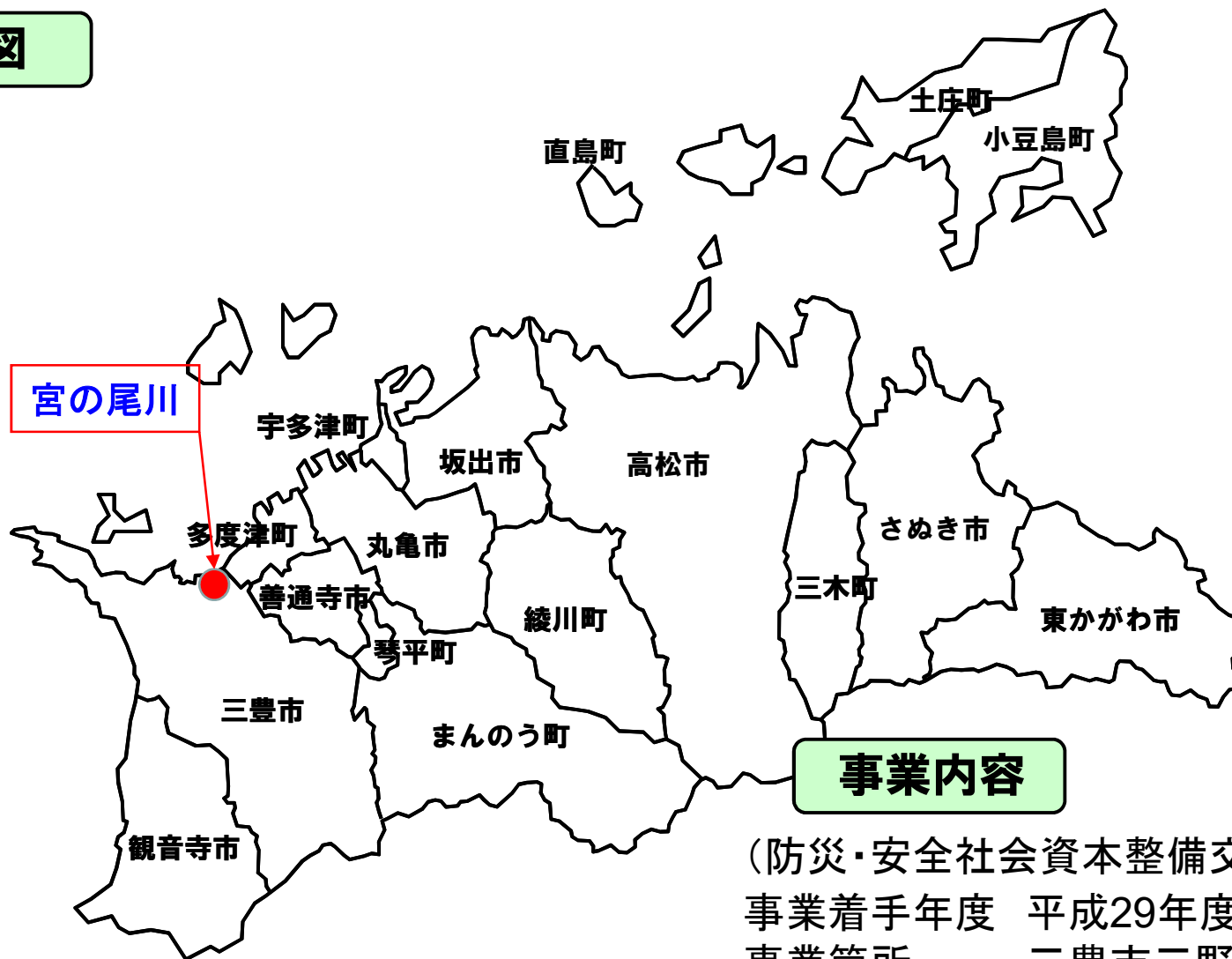
新規事業採択時評価対象事業

事業間連携砂防等事業 宮の尾川

香川県 河川砂防課

◇ 1. 事業の概要

位置図



事業内容

(防災・安全社会資本整備交付金)
事業着手年度 平成29年度
事業箇所 三豊市三野町
事業費 360百万円
実施内容 砂防堰堤1基、
溪流保全工55m

◇ 1. 事業の概要

流域の概要

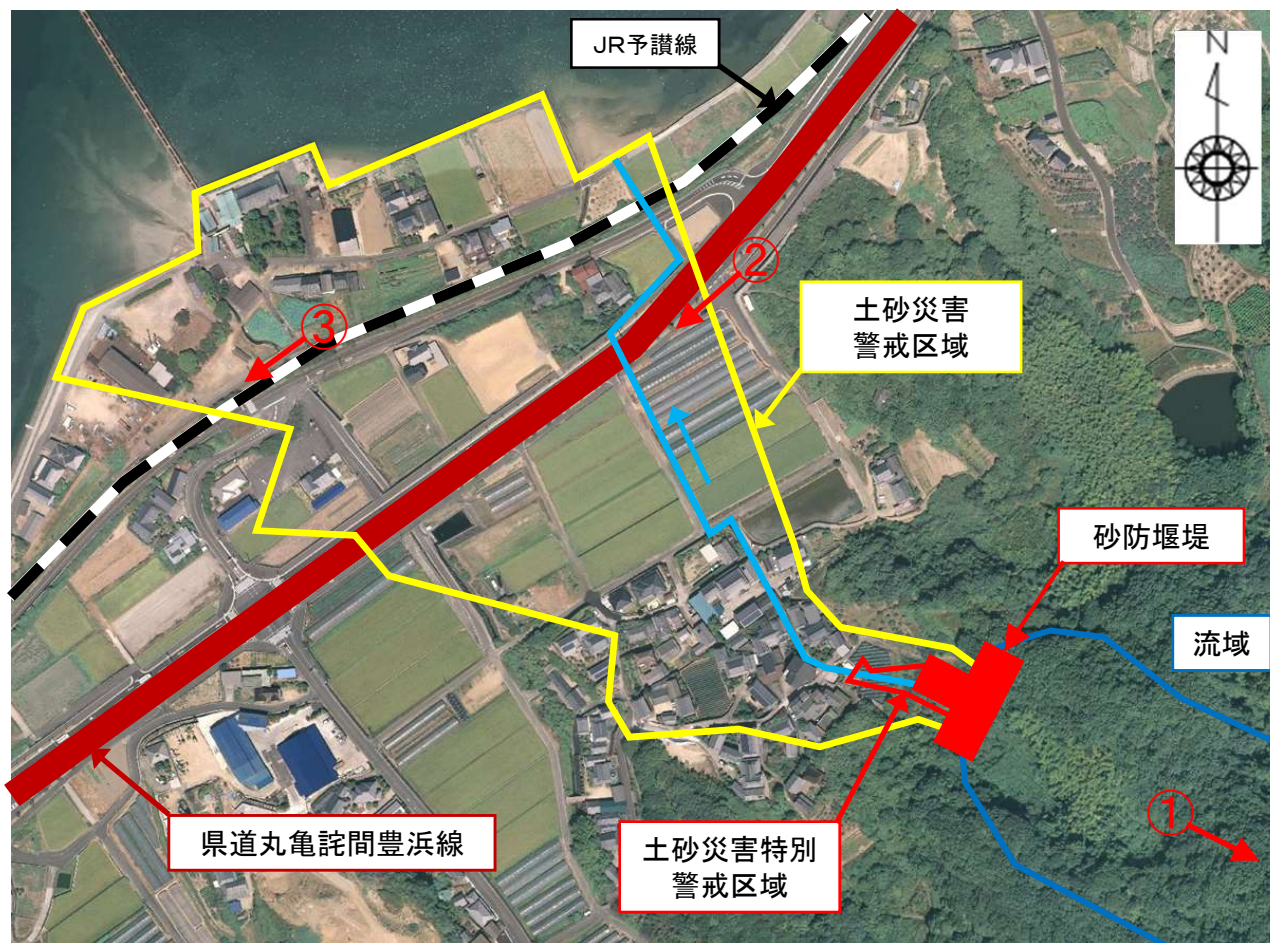


◇ 1. 事業の概要

保全対象

事業の主な保全対象

- ・人家 24戸
- ・JR予讃線 280m
- ・県道丸亀詫間豊浜線 260m (第2次緊急輸送路)



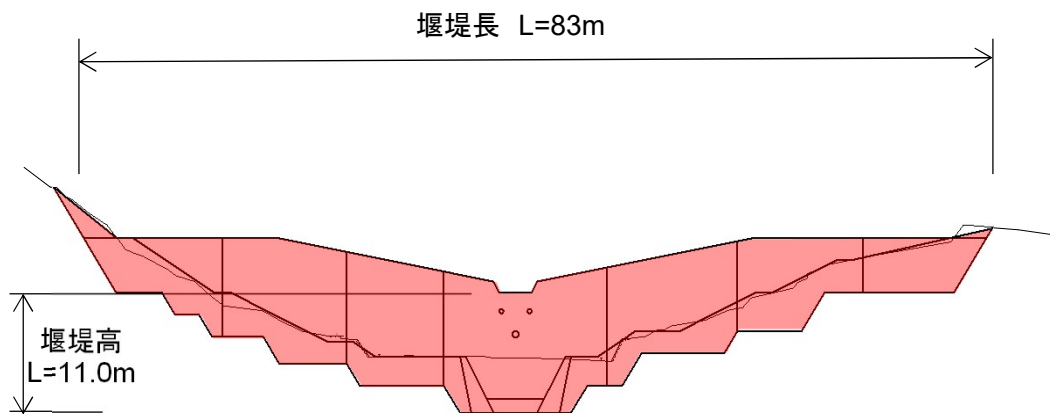
◇ 1. 事業の概要

宮の尾川 通常砂防事業 計画図

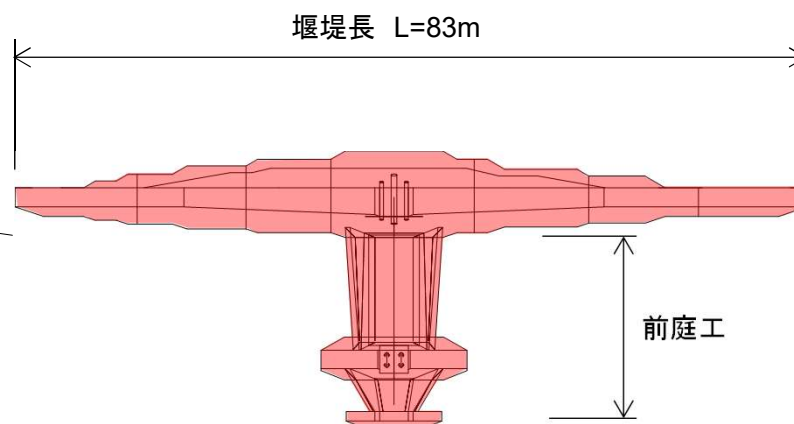
計画平面図



堰堤一般図



(堰堤正面図)

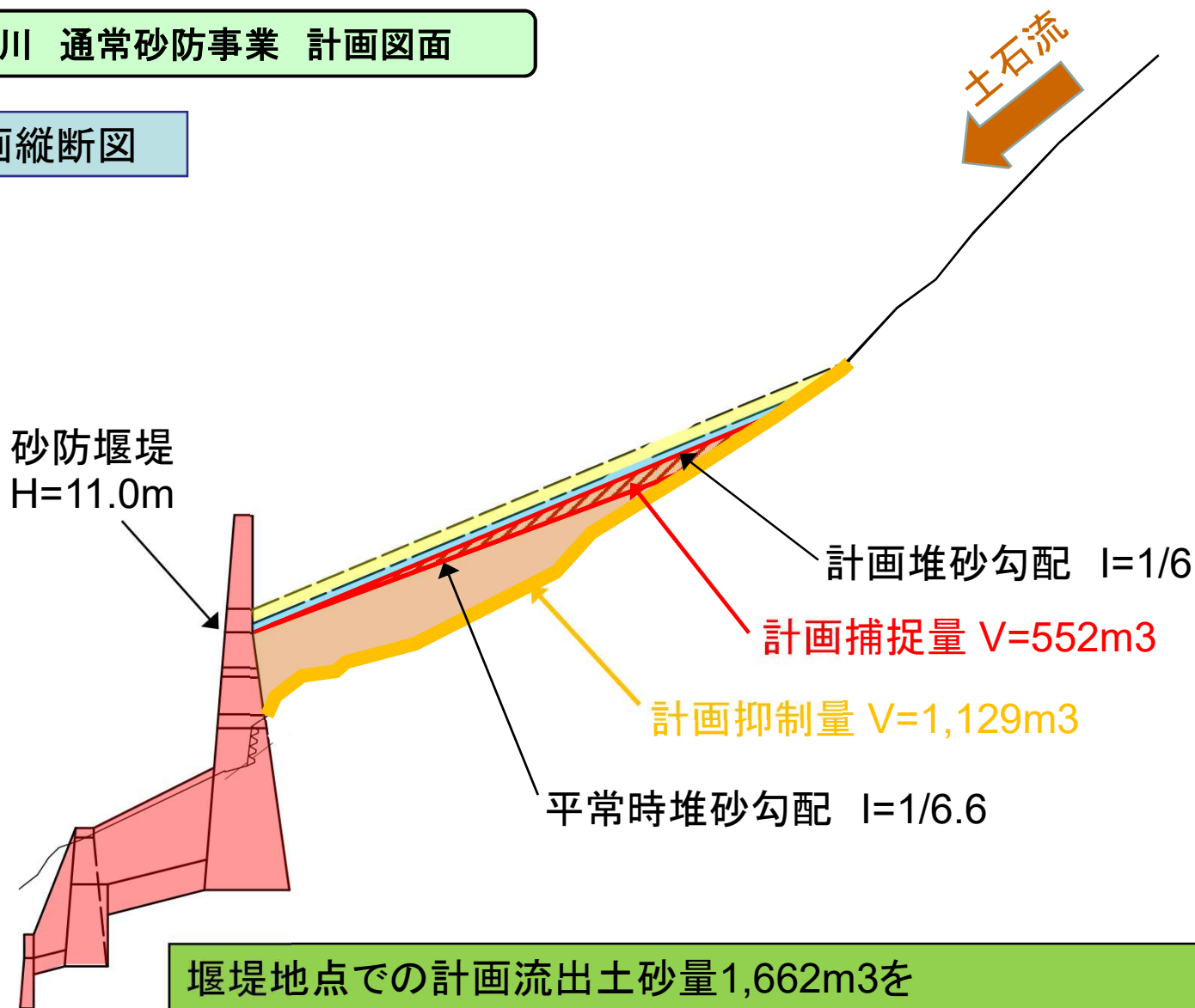


(堰堤平面図)

◇ 1. 事業の概要

宮の尾川 通常砂防事業 計画図面

計画縦断面図



堰堤地点での計画流出土砂量 $1,662\text{m}^3$ を
砂防堰堤の計画捕捉量(赤線で囲まれた部分) 552m^3 と
計画抑制量(オレンジ着色部分) $1,129\text{m}^3$ で止める。

◇2. 費用対効果分析

費用便益比(B/C)などの算定

費用便益比 (B / C) の算定結果

・ **総便益 B = 2,012 (百万円)**

〔 便益 = 2,003.8 (百万円)
残存価値 = 8.5 (百万円) 〕

・ **総費用 C = 202 (百万円)**

〔 建設費 = 199.1 (百万円)
維持管理費 = 2.9 (百万円) 〕

費用便益比 B / C = 9.96

純便益 (B - C) の算定結果

・ **純便益 B - C**

1,810 (百万円)

平成28年度の宮の尾川 砂防事業全体計画書策定時に算出

◇3. 結論

これまでの経緯のまとめと対応方針（案）

これまでの経緯

平成28年度 現地踏査や予備設計に着手

平成29年度 （防災・安全社会資本整備交付金）通常砂防事業として採択され、現地測量、地質調査、詳細設計等に着手

令和 2年度 用地買収完了予定

事業の必要性

- ・砂防堰堤の設置は、土砂災害から県民の生命と財産を守るために有効な手段である。
- ・宮の尾川の保全対象は、**人家24戸、県道丸亀詫間豊浜線、JR予讃線等があり**、土砂災害が発生した場合は**下流域に甚大な被害が発生する恐れがある。**
- ・土砂災害により**県道丸亀詫間豊浜線**が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響は大きく、道路事業と連携し、早期に安全性を向上させる必要がある。
- ・令和2年度に用地買収が完了予定であり、令和3年度から砂防堰堤に着手する予定であることから、**従来の交付金事業から個別補助事業（事業間連携砂防等事業）に移行を図ることで、砂防堰堤、溪流保全工を集中的に整備し、災害予防事業を着実に進める。**



対応方針（案）：実施